

指揮 **田中 健**

1977年東京都生まれ。青山学院大学文学部教育学科卒業。大学在学中より音楽教育及び宗教音楽について岡井晃氏の指導のもと研鑽を積む。指揮法を横島勝人、清水宏之の各氏、クラリネットを加藤明久、高橋邦之の各氏に師事。2012年には宮城教育大学で開催された指揮者講習会において、パスカル・ヴェロ氏(仙台フィルハーモニー管弦楽団 常任指揮者)より直接指導を受ける。オペラでは、モーツァルト「魔笛」、ビゼー「カルメン」、オペレッタではレハール「メリー・ウイドウ」等の公演等に携わる。声楽を含んだ作品では、ベートーヴェン「ミサ・ソレムニス」、『交響曲第9番』、ヘンデル「メサイア」、バッハ「クリスマス・オラトリオ」の公演等に携わる。2015年に組織されたISP(Innovation in Sounds Philharmonic)の指揮者として、ツェムリンスキー:交響詩「人魚姫(原典版)」などの意欲的なプログラムを成功に導いている。2019年には、首都圏の様々な大学に所属する4年生により組織されたリアンフィルハーモニーオーケストラ2019の指揮者として招聘され、ショスタコーヴィチ:交響曲第7番「レニングラード」をはじめとする大編成のプログラムを成功に導いた。これまで、オーディション等を通じて仙台フィルハーモニー管弦楽団、東京シティフィルハーモニック管弦楽団を指揮。現在、ISP(Innovation in Sounds Philharmonic)、東大フィル・グラデュエイト・オーケストラ、METT管弦楽団、横浜交響楽団において指揮者として活動する他、首都圏を中心に多くの団体において客演指揮者及びトレーナーを務めている。

おはなし **高野 直子**

声優、ナレーター

【映画】  
「Fate/kaleidliner Prisma☆Illyaプリズマ☆ファンタズム」  
マジカルルビー役

2019年6月より全国ロードショー中

TV「モンキーターン」青島優子役

【ゲーム】  
「ときめきメモリアル2」寿美幸役

【ラジオ】  
「bayfm」レポーター、CMナレーション

他



本日の出演者

<b>1st Violin</b> ◎ 池田 のぞみ 岩崎 真実 岡島 美奈子 片岡 みのり 上矢 圭一 齋藤 幸子 曾根 むつみ 富高 健 大野 はる美 * 原 聡之 * 馬場 友佳里 *	<b>Viola</b> 高橋 恵子 高橋 紀子 伴瀬 明美 丸尾 直子 ♪ 森 崇政 森本 涼代 矢田 真紀	<b>Flute</b> 池上 裕子 高島 みゆき 宗方 律 村上 苗子 毛受 かおり	<b>T.Sax</b> 小田嶋 麻未 *	<b>Trombone</b> 小澤 奈摘 森口 智子 増田 晶 *	<b>Celesta/ Piano</b> 石川 真紀子 *
<b>2nd Violin</b> 赤井 亮子 池田 里美 大野 裕子 ♪ 神田 雅子 北村 郁美 澤瀬 裕香 杉森 紀代美 高橋 典子 鶴牧 淳子 為国 みゆき * 鈴木 紀子 *	<b>Violoncello</b> 五十嵐 日実子 ♪ 大内 和良 鍛冶 克彦 田村 よね子 宮地 弘幸 山崎 奈巳 ♪ 山崎 明子	<b>Oboe</b> 大内 純子 藤城 貴美子 永田 紗弥佳 美馬 宏美	<b>B.Sax</b> 岡本 美由起 *	<b>Tuba</b> 寺尾 健 *	<b>Raphiki (tenor)</b> 富澤 祥行 *
<b>Contrabass</b> 熊谷 菜生子 ♪ 大松 慶子 藤原 剛 横須賀 朝子 石川 友隆 *	<b>Clarinet</b> 笠原 典子 乗富 真奈美 早川 智子 毛受 卓	<b>Fagotto</b> 大久保 研蔵 今井田 佳子 *	<b>Horn</b> 恩田 雅也 鈴木 浩 貫井 秀憲 貫井 由美 浜中 淳一	<b>Percussion</b> 岡崎 紀子 佐久間 隆夫 田原 裕 鶴牧 淳一郎 富岡 春絵 * 由谷 一幾 *	
	<b>A.Sax</b> 田辺 亮 * 戸村 さや香 *	<b>Trumpet</b> 岩倉 宏司 宇田川 蔵 手塚 浩太郎 山崎 学哉			

◎コンサートマスター  
♪パートトップ  
\*賛助出演



団長 岩倉 宏司  
副団長 横須賀 朝子  
インスペクター 山崎 学哉  
マネージャー 上矢 圭一  
企画委員 山崎 奈巳・池上 裕子

麻生フィル ホームページ  
<http://asaophil.org>

Facebookページもあります!

今後の演奏会 **第69回定期演奏会**

**2019年10月6日(日)**  
会場:麻生市民館ホール 指揮:三石 精一  
独奏:Vnジェラルド・ブルーレ/Vc丸山泰雄  
ブラームス/悲劇的序曲  
ブラームス/ヴァイオリンと  
チェロのための二重協奏曲  
ブラームス/交響曲第4番

第34回麻生音楽祭2019

- 6月22日(土) スクールコンサート
- 6月23日(日) ポピュラーミュージックショー
- 6月30日(日) コーラスのつどい
- 7月 1日(月) かなでようあさおの響き
- 7月13日(土) アンサンブルのつどい
- 7月14日(日) ファミリーコンサート



**第1部 親子でミュージカル**

- 麻生区イメージソング「かがやいて麻生」  
作詞:星合 節子 作曲:豊住 竜志 編曲:倉田 典明
- 「オペラ座の怪人」セレクション
- 「サウンドオブミュージック」メドレー
- 楽器紹介  
～オーケストラで見慣れない楽器～
- 「ライオンキング」セレクション

**第2部 1950年代のアメリカ**

- 「ウエストサイドストーリー」  
セレクション
- 「パリのアメリカ人」

指揮:田中 健  
おはなし:高野 直子

主催 麻生音楽祭実行委員会/川崎市麻生区役所  
協賛 株式会社エリアブレイン(マイタウン発行元)/川崎市アートセンター/新百合ヶ丘エルミロード  
後援 川崎市教育委員会/小田急バス株式会社/「音楽のまち・かわさき」推進協議会/かわさきFM(79.1MHz)  
株式会社ジェイコムイースト町田・川崎局/NPO法人しんゆり・芸術のまちづくり  
問い合わせ 麻生音楽祭実行委員会(麻生区役所地域振興課内) TEL 044-965-5370 FAX 044-965-5201



## 第1部 親子でミュージカル

### 麻生区イメージソング「かがやいて麻生」

作詞：星合 節子 作曲：豊住 竜志  
編曲：倉田 典明

2005年に麻生音楽祭20周年を記念して、公募による歌詞で作成された麻生区のイメージソングです。お手元の歌詞カードをご覧ください、ぜひオーケストラに合わせて歌ってみてください。麻生区役所では始業時・お昼の休憩時・終業時に麻生フィル演奏の「かがやいて麻生」が流れています。こちらもぜひ聴いてください。

### 「オペラ座の怪人」セレクション

原作：ガストン・ルルー 脚本：アンドリュー・ロイド・ウェバー/リチャード・スティルゴー  
音楽：アンドリュー・ロイド・ウェバー 初演：1986年10月 ロンドン  
All I Ask of You / Angel of Music / Masquerade / The Music of The Night  
The Phantom of The Opera / Think of Me

19世紀、パリのオペラ座。コーラスガールのクリスティーヌは、「音楽の天使」と呼ぶ歌の先生がいた。彼は、オペラ座の地下に住む、仮面をかぶり素顔を隠す、オペラ座の怪人でした。クリスティーヌを愛する怪人は、クリスティーヌを主役にするよう、オペラ座のシャンデリアを落下させる事件を起こします。一方、クリスティーヌと幼馴染のラウル子爵は、クリスティーヌとの間に愛情を芽生えさせます。ラウルと劇場スタッフは、怪人と対決すべく立ち向かおうとするが、一足早く、怪人はクリスティーヌを誘拐したのです。追いかけるラウルも怪人に捕らえられ、怪人はクリスティーヌに自分かラウルの命かの2択を迫ります。それに対しクリスティーヌは醜いのは怪人の容姿ではなく魂だと諭し、怪人にキスをするのでした。怪人は初めて愛に触れたことに感動し、2人を解放し闇の中に姿を消して行きました。怪人を捕らえようと押し寄せてきた人々が見たのは、怪人が身に付けていた仮面だけでした。ガストン・ルルーの小説を作曲家のアンドリューロイドウェバーが自ら音楽を担当し映画化しました。怪事件のもとに怪人・クリスティーヌ・ラウルの関係、ロマンスが印象的で美しい音楽に彩られ大ファンタジーエンターテイメントとなりました。

### 「サウンドオブミュージック」メドレー

原作：ハワード・リンゼイ/ラッセル・クローズ 脚本：アーネスト・レーマン  
音楽：リチャード・ロジャース/オスカー・ハマースタイン2世 初演：1959年 ニューヨーク・ブロードウェイ  
サウンドオブミュージック/恋の行方は/ひとりぼっちの羊飼ひ/私のお気に入り/もうすぐ17才  
さようなら、ごきげんよう/ドレミ/エーデルワイス/普通の夫婦/誰にも止められない/マリア/すべての山に登れ

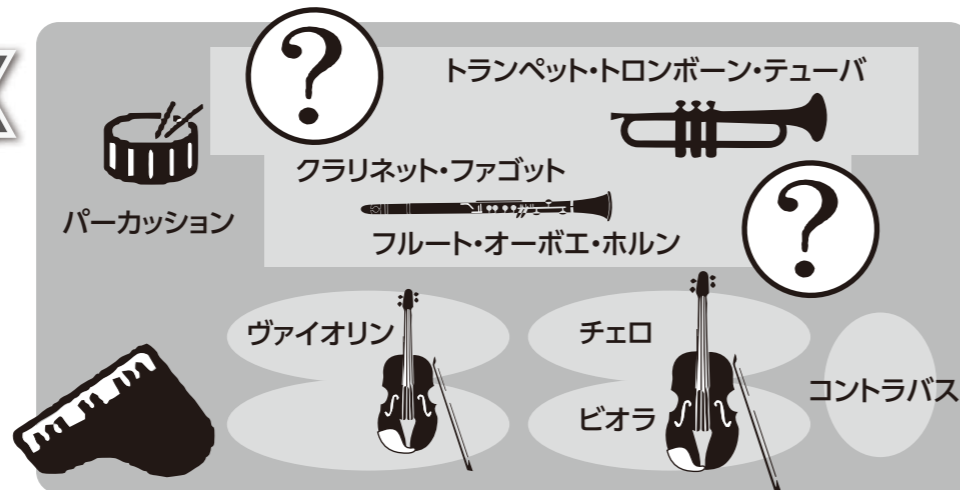
第二次大戦直前ナチス占領下のオーストリアで歌と家族愛で人々を励まし続けてきたトラップ・ファミリー合唱団の実話に基づいたミュージカル映画です。

主人公のマリアは修道院で修行の身でしたが院を抜け出しては山へ歌いに出かけます。そんなマリアに修道院長はトラップ大佐の邸宅で子供たちの家庭教師になるよう勧めます。7人の子供たちは軍隊式に育てられており、歌も遊びも知りませんでした。マリアはそんな子供たちに戸惑いながらも徐々に打ちとけ子供たちに歌う喜びを教えます。マリアの歌声に胸うたれた大佐は豊かな心を取り戻し、互いにひかれあいますが大佐には再婚話がありました。しかし二人はそんな障害をはねのけ結婚を果たします。次第にオーストリアはナチス軍に支配され、大佐のもとへ召集令状が届きます。従いたくない大佐は家族を連れ、音楽祭に出演しその観客の歓声の中、抜け出し一家は歩いて山を越えていくのでした。「ドレミの歌」「エーデルワイス」「私のお気に入り」など美しいメロディーにあふれたこの作品は製作から60年経ちますが多くの人々に愛され、日本の音楽科教科書の定番でもあります。

### 楽器紹介コーナー

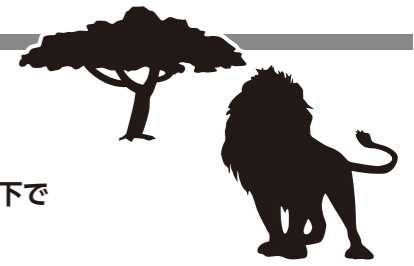


今日の麻生フィルはどこか違います。ステージ上の楽器の並び方がヘンです。さて、何がちがうのでしょうか。



## 「ライオンキング」セレクション

脚本：ジョナサン・ロバーツ/アイリーン・メッキ/リンダ・ウールヴァートン  
音楽：ハンス・ジマー 初演：1997年 ニューヨーク  
アフリカの大地/サークル・オブ・ライフ/王様になるのが待ちきれない/星空の下で  
ハクナマタタ/愛を感じて



ディズニーによるアニメーション映画を基にしたミュージカル。役者が動物の衣装で登場するだけでなく、巨大な人形を用いて登場しました。

アフリカ サバンナに広がる動物の王国。そこに君臨する王ムファサ。息子であるシンバに、自然界を支配するバランス、王としての心構えについて教える。王になるのを待ち焦がれるヤンチャなシンバは狡猾な叔父に騙されてしまい、愛する息子を守るために父は命を落としてしまいます。王国を追われ、父を失い、絶望したシンバ。出会った仲間たちに支えられて成長していきます。王国から助けを求めてやってきた幼馴染に再会し王国に戻り対決することに戸惑いますが、辛いことも「ハクナ・マタタ(なんとかなるさ)」の精神で乗り越えて王国へ向かいます。

「サークル・オブ・ライフ(生命の循環~いのちは巡る)」「親子の愛」がテーマのミュージカルです。

## 第2部 1950年代のアメリカ

### 「ウェストサイドストーリー」セレクション

原作：ジェームズ・ロビンズ/アーサー・ローレンツ 脚本：アーネスト・レーマン  
音楽：レナード・バーンスタイン他  
初演：(ミュージカル) 1957年 ニューヨーク・ブロードウェイ (映画) 1961年 アメリカ  
素敵な気持ち/マリア/何かが起こりそう/トゥナイト/ひとつの手、ひとつの心/クール/アメリカ



ニューヨークのウエスト・サイド。ポーランド系アメリカ人の「ジェット団」と、移民プエルトリコ系アメリカ人の「シャーク団」が小競り合いを繰り返していました。ジェット団の元リーダー・トニーはダンスパーティーでマリアに出会いますが、マリアはシャーク団リーダー・ベルナルドの妹でした。2人はお互いの心確かめ合い将来を誓いますが、2つの集団の決闘に巻き込まれ、ジェット団の現リーダーであるリフはベルナルドに刺されてしまいます。そしてトニーもベルナルドを刺してしまい2人は死亡。ベルナルドを殺されたシャーク団はトニーを血眼になって探し出します。そしてトニーまでもシャーク団のチノによって射殺されてしまいます。警察が駆け付ける中、ジェットとシャークの少年たちがトニーの遺体を担ぎ出て行き、マリアも一人この場を後にするのでした。

1957年ブロードウェイ上演後、1961年に映画化され大ヒットします。トニーがマリアを想って歌う「マリア」、シャーク団の女性たちが故郷プエルトリコを思いながらもアメリカでの生活に心躍らせる「アメリカ」、今夜の決闘をそれぞれの想いとして歌い上げる「トゥナイト」などリズムカルで複雑なテンポの迫力の音楽で溢れ、不朽の名作とされています。

### 「パリのアメリカ人」

原作：ハワード・リンゼイ/ラッセル・クローズ 脚本：アーネスト・レーマン  
音楽：ジョージ・ガーシュイン/オスカー・ハマースタイン2世  
初演：1959年 ニューヨーク・ブロードウェイ



第二次大戦後のパリ。退役軍人でパリに住み画家を目指すアメリカ人ジェリーはアメリカ人のピアニスト・アダムやフランス人の歌手アンリなどの友達など賑やかな日々を過ごしていました。アメリカの金持ちで若い芸術家を支援しているミロが訪れ、彼の絵を買ってくれます。ある日ミロと一緒にキャバレーにいったジェリーは、チャミングで清楚なパリ娘のリズに一目惚れしてしまいます。ジェリーは彼女の勤め先へ訪れてはリズを誘います。なんとか夜9時に川岸のカフェに誘い出しお互いに夢を語ります。ジェリーはバラードを歌い、彼女の手をとるとともに踊り始めます。お互いの気持ちを確かめ合います。リズはジェリーにアンリと婚約していることを隠しており、アンリはアメリカへ演奏旅行に出発することになり、アンリはリズに結婚して一緒にアメリカへ行こうと申し出ます。複雑な心境の中でリズはこれを承諾し、ジェリーにすべてを打ち明けました。失意の中舞踏会に出かけたジェリーは、偶然リズとアンリに出会います。人影ないバルコニーで、ジェリーとリズは最後の別れを惜しみます。アンリは偶然に二人の話を立聞きし二人が愛し合っていることを知り、アンリは自ら身を引きジェリーとリズは晴れて結ばれるのです。映画の舞台は第二次大戦後ですが「パリのアメリカ人」は1920年代にパリで過ごしたジョージ・ガーシュインが「紀行文」のごとく作曲した交響詩で旋律やリズムなどはジャズの影響を強く受けています。